



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日
東

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所
コード番号 3474 URL <https://g-fac.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03-5325-6868
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,841	1.5	△89	—	△139	—	△210	—
2024年12月期第3四半期	4,772	14.7	12	—	10	△37.7	5	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △182百万円 (—%) 2024年12月期第3四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△32.20	—
2024年12月期第3四半期	0.86	0.86

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、2025年12月期第3四半期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,022	1,311	29.8
2024年12月期	4,365	1,463	31.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,197百万円 2024年12月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,560	3.3	34	—	32	86.2	△58	△9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	6,831,500株	2024年12月期	6,816,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	300,000株	2024年12月期	300,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	6,521,994株	2024年12月期 3 Q	6,493,857株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に雇用・所得環境が緩やかに改善しました。インバウンド需要の回復も追い風となり、全体として持ち直しの動きがみられました。一方で、世界的な金融引き締めや円安、原材料高の影響から、企業・家計ともに負担が増し、先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、需要回復の動きがみられる一方で、物価上昇に伴う節約志向が根強く、業態ごとの集客力や価格戦略が業績に大きく影響を及ぼす状況が続いております。加えて、原材料価格の変動、人手不足による人件費の上昇も経営負担となっており、依然として厳しい事業環境が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、各事業で収益が発生する「名代 宇奈とと」のライセンス展開や、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。さらに、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,841,792千円（前年同四半期比1.5%増）、営業損失は89,949千円（前年同四半期は営業利益12,925千円）、経常損失は139,421千円（前年同四半期は経常利益10,328千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は210,005千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益5,599千円）となりました。

なお、為替相場の変動による為替差損53,884千円を営業外費用に計上しております。これは主に、当社から当社連結子会社であるGF CAPITAL PTE. LTD. への貸付金の為替換算レートによる評価替えにより生じたものであります。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第3四半期連結累計期間においては、出退店サポートにおける新規案件の獲得が継続しており、取扱物件数の増加によりストック型の収益が増加しております。また、国策である特定技能制度を追い風に、外国人材紹介サービスが継続的に拡大し、フロー型の収益も増加傾向にあります。

外国人材紹介サービスについては、対象となる外国人材、特定技能分野、支援対象国の拡大に取り組んでおり、当社にとって新たな成長領域として積極的な投資を行っております。これに伴い、体制整備に伴う人件費や地代家賃等が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は2,250,196千円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は323,493千円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

② 飲食事業

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」の国内店舗では、コメ等の原材料価格の高騰によるライセンス店支援措置として、ロイヤリティの減額を行っていますが、継続するインバウンド需要の獲得や新規出店、原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定により、全体として売上高が増加しております。また、海外店舗においても、客数増加を目的とした各種施策が奏功し、既存店で増収しております。一方で、国内海外の新店開発により、開発費用のほか人件費や減価償却費等が増加しております。

レストラン業態においては、不採算店舗の休業措置を講じたことにより売上高は減少したものの、コスト削減効果により収益性は改善いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は、2,591,596千円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は42,584千円（前年同四半期比48.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より342,940千円減少して4,022,398千円となりました。これは主に、有形固定資産その他が44,853千円、差入保証金が40,350千円増加した一方で、現金及び預金が285,829千円、売掛金が51,933千円、建物及び構築物が78,451千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より190,838千円減少して2,710,722千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が41,039千円、長期預り保証金が55,877千円増加した一方で、買掛金が53,419千円、未払法人税等が22,664千円、長期借入金が157,183千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より152,102千円減少して1,311,675千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が27,922千円、新株予約権が26,768千円増加した一方で、利益剰余金が210,005千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期決算を踏まえ、第4四半期の業況について現在精査中であり、2025年2月14日に公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,488	1,168,658
売掛金	206,562	154,629
リース投資資産	39,836	24,386
商品	73,059	58,626
その他	308,089	348,182
貸倒引当金	△115	—
流動資産合計	2,081,921	1,754,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	660,817	582,366
その他（純額）	48,857	93,710
有形固定資産合計	709,675	676,076
無形固定資産		
その他	18,940	18,043
無形固定資産合計	18,940	18,043
投資その他の資産		
差入保証金	1,219,217	1,259,567
その他	337,552	316,194
貸倒引当金	△1,967	△1,967
投資その他の資産合計	1,554,802	1,573,794
固定資産合計	2,283,417	2,267,915
資産合計	4,365,339	4,022,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,055	114,635
1年内返済予定の長期借入金	156,972	198,011
未払法人税等	22,664	—
賞与引当金	—	27,969
その他	760,054	690,174
流動負債合計	1,107,745	1,030,790
固定負債		
長期借入金	780,741	623,558
長期預り保証金	904,961	960,838
その他	108,113	95,536
固定負債合計	1,793,815	1,679,932
負債合計	2,901,560	2,710,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,460	55,305
資本剰余金	633,283	635,128
利益剰余金	772,206	562,201
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,215,016	1,008,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	1,763
為替換算調整勘定	159,304	187,227
その他の包括利益累計額合計	159,934	188,990
新株予約権	71,557	98,325
非支配株主持分	17,269	15,657
純資産合計	1,463,778	1,311,675
負債純資産合計	4,365,339	4,022,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,772,173	4,841,792
売上原価	2,469,174	2,550,190
売上総利益	2,302,998	2,291,601
販売費及び一般管理費	2,290,073	2,381,551
営業利益又は営業損失(△)	12,925	△89,949
営業外収益		
受取利息	261	2,965
受取配当金	92	145
受取補償金	1,301	—
助成金収入	731	1,370
その他	2,243	4,687
営業外収益合計	4,630	9,168
営業外費用		
支払利息	5,452	4,748
為替差損	1,396	53,884
その他	378	6
営業外費用合計	7,227	58,640
経常利益又は経常損失(△)	10,328	△139,421
特別利益		
固定資産売却益	502	6,747
違約金収入	1,088	15,102
受取和解金	3,134	37,964
特別利益合計	4,725	59,815
特別損失		
固定資産除売却損	1,245	5,843
訴訟関連損失	—	20,784
和解金	6,988	48,496
店舗閉鎖損失	—	27,197
特別損失合計	8,233	102,322
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,820	△181,928
法人税、住民税及び事業税	23,528	5,787
法人税等調整額	△22,476	23,791
法人税等合計	1,052	29,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,768	△211,508
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	168	△1,502
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,599	△210,005

四半期連結包括利益計算書
第3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	5,768	△211,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	1,133
為替換算調整勘定	33,063	27,813
その他の包括利益合計	32,887	28,947
四半期包括利益	38,655	△182,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,592	△180,948
非支配株主に係る四半期包括利益	1,062	△1,612

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,188,416	2,583,757	4,772,173	—	4,772,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,188,416	2,583,757	4,772,173	—	4,772,173
セグメント利益	351,273	82,052	433,325	△420,399	12,925

(注) 1. セグメント利益の調整額△420,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,250,196	2,591,596	4,841,792	—	4,841,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,250,196	2,591,596	4,841,792	—	4,841,792
セグメント利益	323,397	42,536	365,933	△455,883	△89,949

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,883千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	131,856千円	145,568千円
のれんの償却額	13,520 〃	— 〃